

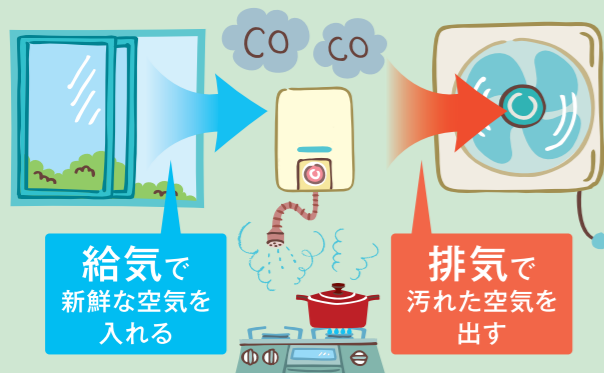
# 3つのアクションで、安全・安心LPガス!!

CO(一酸化炭素)中毒事故・ガス漏れ事故を防ぐのは、日頃のちょっとした注意と行動です。

## サッと換気

ガス器具を使う時は、必ず「換気」

ガス器具を使う時、絶対に必要なのが換気です。これを怠ると空気(酸素)不足による不完全燃焼が発生。有毒なCOは「無色・無臭」でもあるので、気づかないうちに中毒を起こしてしまいます。換気には「給気」も必要。換気扇を使っても時々「サッ」と窓を開け、新鮮な空気を取り込みましょう。



## カチッと確認

点火したら、青い炎を目で見て「確認」

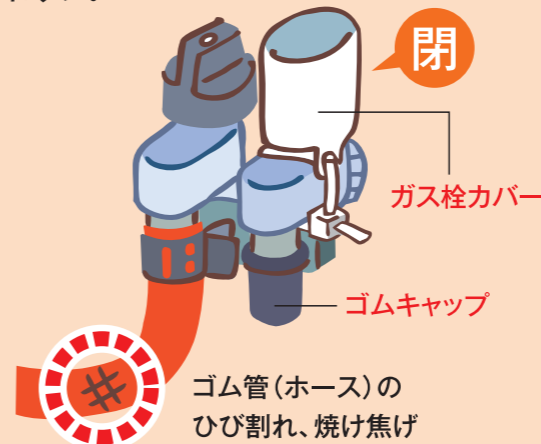
ガス器具に「カチッ」と点火した時は、青い炎が出ていることを目で見て確認。点火ミスをした時に繰り返し操作すると、器具内にガスが溜まり、引火する恐れもあります。ガス器具に異常があれば、すぐにガス器具メーカーかLPガス販売店に点検を依頼しましょう。  
※乾電池が切れていると点火できません。



## キュッと防止

誤開放は、「ガス栓カバー」と「ゴムキャップ」で「防止」

ゴムホースはガスの元栓の赤い線まで確実に差し、ホースバンドで止めます。使っていないガスの元栓は「閉」にし、ガス栓カバーとゴムキャップを。ひび割れ、焼け焦げのあるゴムホースはすぐ交換。「キュッ」と止めるのを忘れずに。



地震など、災害後にガスを再開する時、まずは、安全確認

- 安全確認 1** ガス漏れやガス臭かったら、すぐ連絡。  
ガスを使わず、器具栓、ガスの元栓、メーターガス栓、容器バルブをすべて閉め、「LPガス販売店」か「緊急時の連絡先」へすぐに連絡してください。
- 安全確認 2** ガス器具が破損していたら、修理依頼。  
そのガス器具は使わず、すぐにガス器具メーカーに修理を依頼してください。

**ガスメーター復帰操作の注意**

- ガスがシャ断されている時は、ガスメーターの表示を確認してから復帰操作してください。
- 復帰操作しても復帰しない時は、操作を止めて「LPガス販売店」に点検を依頼してください。

※ガスメーターの復帰方法など、詳しい情報はLPガス安全委員会ホームページでご確認ください。

「特定保守製品」を購入したら、長期使用製品安全点検制度を活用

申し込みは、簡単3ステップ。

- ①ガス器具購入店で説明を受ける**  
購入店で長期使用製品安全点検制度の説明を受けます。
- ②所有者登録をする**  
所有者票を購入店に渡すかガス器具メーカーに郵送します。
- ③定期点検を受ける**  
メーカーから通知が来たら点検(有料)を依頼します。  
※点検を受けていただくことが法律で求められています。

今お使いのガス器具も点検が受けられます。  
平成21年4月以前に製造された製品は「長期使用製品安全点検制度」の対象外ですが、ご依頼により制度に準じた点検が受けられます。点検・調査・修理・改善(有料)については、ガス器具メーカーにご相談ください。

緊急時の連絡先は  
夜間・休日も対応  
緊急時は  
30分以内に対応

異常を感じたら、「緊急時の連絡先」へすぐ連絡。  
臭いや漏れなど、ガスの異常を感じたらすぐに器具を止めて「緊急時の連絡先」へ連絡。緊急時の連絡先はあらかじめLPガス販売店に確認しておいてください。

ガス警報器 CO警報器

安全を24時間見張りたい時は、「ガス警報器」「CO警報器」。  
ガスの異常をブザーや音声で知らせてくれる「ガス警報器」や「CO警報器」を使えばもっと安心。5年の交換期限を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。

LPガス安全委員会 / 経済産業省  
詳しい情報はLPガス安全委員会のホームページでご確認ください。

LPガス安全委員会 検索

スマホからもOK!

http://www.lpg.or.jp/